

2022 年 5 月 30 日

読者のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、記載内容に誤りのある箇所を下記の正誤表に基づき修正してお読みください。付録CDの修正につきましてはCDの正誤表をご覧ください。

正誤表（本）

訂正箇所		訂正事項	訂正内容
p. 53	計算例 1	計算の間違い	「内部欠陥の推定」の最後の行の式と解答を以下の通り訂正。 【誤】 $L=1 \times 4.0 \times 10^6 / (10 \times 10^3) = 400\text{mm}$ 正解(4) 【正】 $L=1 \times 4.0 \times 10^6 / (10 \times 10^3) / 2 = 200\text{mm}$ 正解(2)
p. 177	問 6 本文	問題文が 1 センテンス抜けている	問題文と図の間に以下の 1 センテンスを挿入。 分極抵抗法（交流インピーダンス法）は、コンクリート表面と鉄筋表面との間において下図に示す電氣的等価回路モデルが成立することを利用したものである。コンクリート表面に設置した対極と鉄筋との間に、高周波数の交流電流を印加したときに測定される（ A ）と、低周波数の交流電流を印加したときに測定される（ B ）の差分から分極抵抗を求める。コンクリート中の鉄筋の腐食速度は、（ C ）に比例するものとして推定する。
p. 290	問 5	解答番号の誤り	【正解】(4)を【正解】(3)に訂正。
p. 298	問 3、図	寸法表記の誤り	単純梁 AB の寸法表記を以下の通り訂正。 スパン長： $2L \rightarrow L$ 、スパン中央までの長さ： $L \rightarrow L/2$
p. 394	問 34	解答番号の誤り	【正解】(1)を【正解】(3)に訂正。解説の冒頭の番号を(1)から(3)に訂正。
p. 396	解説 2019-8	解答番号の誤り	【正解】(3)を【正解】(4)に訂正。また、解説の最後の「(3)が不適當」を「(4)が不適當」に訂正。
p. 419	表-2	記載事項の誤り	項目「円筒型枠上下のコンクリートの厚さ」の内容を以下の通り訂正。 【誤】設計値： $t_1=150[\text{mm}]$ 、 $t_2=100[\text{mm}]$ 【正】実測値： $t_1=60 \sim 150[\text{mm}]$ 、 $t_2=100 \sim 190[\text{mm}]$